

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスNICO吉倉				公表日	令和8年2月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	理学療法士を配置し、専門的な支援に力を入れている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	86%	14%	場所により活動する内容が決められており、子どもが分かりやすいようにしている。	バリアフリー化は該当する子どもがいない為されていない。状況に合わせて配慮していきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	掃除や換気、室内消毒を徹底している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールダウンや個別活動の際に、使用できる部屋を設けている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定期的に職員同士で話し合う時間や機会を設けている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者の交流会を今後行なう予定である。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	朝、夕のミーティングや気になる事柄がある場合等、話し合い改善している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	職種により研修を行なう機会を設けている。		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	定期的にあセスメントを行い、個々にとって対応方法を変えるなどし、計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	作成する際には、支援者側からの子どもの状態や状況などを確認し、最も良い方法を選択している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員が共有できるように話し合いの機会を設けている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	子どもが検査をした際に情報を頂き、それに付随して日常生活などでの様子や行動などを合わせて活用している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	将来、日常・社会生活を上手に送れるように5領域(本人支援)を計画書に記載している。また、サービス支援内容等、本人の強みであるところを大切にしている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	86%	14%	集団活動やイベント活動の内容に対して職員間で話し合い立案している。	話し合いの際に、発言する職員が偏ってしまうことがある為、順番に発言するなど配慮していきたい。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	職員間で意見を出し合い、固定化しないように工夫している。	似た活動や同じ活動になってしまう際は、障害特性や発達の状況に合わせて少し変化を出すなどの工夫している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼の際に利用人数や送迎、支援内容の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	終礼の際にその日行われた支援の振り返りを行い、気付きを共有し今後の支援に繋げるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	適切な見直しを行っている。また、モニタリングの日程の幅を広くすることで、保護者が調整しやすいようにしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	地域でイベントがある際には参加するようにしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	余暇時間やおやつなど、こどもが自分で取り組みたい活動や食べたいおやつを選択する場面がある。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者や管理者が積極的に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	29%	71%		今年度より該当児童がいる為、今後行なう予定である。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	43%	57%	研修の機会にある場合がある。	研修に参加する職員が偏ってしまう。職員全員がスーパーバイズや助言を受けられるように順番で参加するなどの工夫を行う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	29%	71%	積極的に地域でのイベントに参加し、一緒に活動する機会を設けている。	地域でのイベントへの参加は土曜日が多くなってしまふ為、全てのこどもが参加することが難しい状況である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	57%	43%	連絡協議会には参加している。市の方等の話しがある場合もある。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	悩み等や対応の支援に困った時に事業所内での様子をお伝えしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	86%	14%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	日常会話等で本人の気持ちを知ること等、保護者と共有する。何を目標にしたいのか、その都度話をしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	6ヶ月に1回モニタリングを設けて同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	悩み等や対応の支援に困った時に事業所内での様子をお伝えしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	14%	86%		保護者会、交流会を今後行う予定である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	86%	14%		万が一職員に対する苦情があった場合、該当する職員には言いにくいと思われる為、送迎職員が偏らないようにしている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	紙ベースのNICO通信や今年度よりインスタグラムにより、活動を配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	86%	14%	散歩、公園での活動、周辺のスーパーなどのお買い物学習の際に、地域住民の方々と関わる機会がある。	行事を行う際に、事業所に入れる人数や駐車場の数などが課題となる。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	職員間でアレルギーのある子どもへの情報を共有し、おやつや外食時など摂取しないように徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットを作成する事例があった場合には、直ぐに話し合う場を設け、再発防止に取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	会社で研修の機会を設けている。また、外部の研修にも積極的に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	86%	14%			